

新島村議会だより

第71号

平成26年12月



平成26年第4回定例会(12月)

会期日程

第4回定例会は平成26年12月4、5日に開催され、各種補正予算などを審査しました。

もくじ

一般質問から	2
議長の自ラウンド	6
議長の四季報	8
編集後記	8

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

表紙は語る

これは新島村に伝わる「馬鹿囃子」の式根島馬鹿囃子保存会による練習風景。

この踊りは江戸時代、流人たちが淋しさを紛らわすため、思い思いに踊ったのが由来ではないか、とされている。確かにその身ぶり手ぶりには定型的な様式はなく、このことが逆に喜怒哀楽の感情の発散を一層盛り立てているように

も見える。

保存会では今に伝わるこの踊りを後世に残そうと練習に励んでいる。現在、会員は男子5名、女子10名、3月の文化祭の発表に向け、式根島福祉センターを借りて毎週金曜日、夜7時半に行なっている。できる限りにぎやかにハデに繰り広げたいという思いがあり、只今特訓中。

山本均議員



住民公聴会の結果は？

問

11月26日～28日まで地区ごとに住民公聴会が実施された。今回は産業振興をテ

マに行なわれたが、みなさんの関心度、出席状況はどうだったか？

答

3地区の参加者はそれぞれ本村34名、式根島28名、若郷22名となった。産業振興には2時間では足りないと言われた。今後はじっくり時間をかけて話し合いをしたい。

新島村の一致団結力を発揮して各団体が横の連絡を密にして夏に向けて色々なイベントを組むことが大切。





観光振興策として新規事業はあるのか？

問 観光業を活性化、発展させるためにどのような事業を考

えているか、その規模、目的、ねらい等も合わせて教示願いたい。

各産業団体と協議して観光客に喜んでもらえるイベントを考え実現していく。新規では新島アーク

答 各産業団体と協議して観光客に喜んでもらえるイベントを考え実現していく。新規では新島アーク

アスロン大会、サー

フィン大会マスタリーグ、プロアマのOBG大会を実施し、民間のサバイバルゲーム事業を支援する。自ら努力しさらなる振興策を打ち出している観光産業団体には積極的に支援し経済の牽引役を担ってもらおう。

生活保護と生活困窮家庭の間

問 生活保護法の改正によりその認定に

関し、実際の現場で厳しく査定され認定されにくくなるのではないかと危惧する。国の意向を受けて村はどのような対応をしてきたか。

答 法の改正に伴い村では民生児童委員の活動をはじめ、住民の方々の生活状況を把握し、各関係機関

との連絡調整を強化し、その中で本当に生活に困窮している世帯には積極的に関与し、安心した生活が営めるよう、これまでと同様に

対応していく。

その後の特養ホームは？

問 前回、特養ホームの質問をした。この2カ月余りの間にホームに変化はあったのか、村はどの

よう、これまでと同様に



ように関わってきたのか、改めて訊く。

答 4月からは12月現在の単純な人数増減では6名退職、4名休業中、4名就職し、差し引き6名の減となっている。本施設の最低必要人員は69名で全職員は69名だが、非常勤の割合が高く、常勤換算職員数では実質8名の不足となる。

村は今後ともはまゆう会と綿密な連絡、連携をとり、安定した施設運営が行えるよう引き続き支援していく。

避難訓練の成果は？

問 今年の訓練の結果は今後の計画作りにどのように反映されていくのか？

答 今回の訓練は津波避難を目的に各自の避難行動を再確認し

ていただいた。合わせて津波避難行動調査を行い、計画の詳細なデータとして利用する。

問 自主避難できない人たちに対し、どのように避難してもらうのか？

答 今回の調査で自力避難困難者がほぼ確定したので今後、各自の対策をまとめていきたい。

問 式根島には別の対応策が求められないか？

答 避難対象地域の30メートル以下の住居はかなり多く、島全体での津波避難は重要である。

問 地震・津波によって機能的に新島と分断された場合、式根島独自で対処できる態勢作りをしていくことが重要ではないか？

問 地震・津波によって新たな緊急通信網の確立を！

答 現在、新島、式根島では一人暮

らしの方が多く見られる。緊急発信が役場、支所、診療所等につながる新たな緊急通信網が必要かと思う。村長に伺う。

答 日進月歩の通信、ITなどを利用して新島村で可能なものは、今後検討を重ねていきたい。

答 緊急性が高い場合は支所長が判断し対処するよう指示している。

問 予備の貯水タンクの増設、ソーラー発電等の非常電源が必要では？

答 防災計画にはないが、今後、検討していく。

青沼進二議員



高校生までの医療費無料化について

治体の状況等を分析し、検討する。

問

村長は「この島で生活する誰もが安心、安全で暮らせる村を」と言っている。その中で高校生までの医療費の無料化の実現を願う。村長に所見を伺う。

答

以前、島外の高校生を受け入れるアンケート調査があったが、その後を知りたい。

答

現時点では考えていない。今後、実施している自治体、実施を検討している自治体

答

調査の結果は全体で賛成が二百二十二件、反対が20件、どちらとも言えないが百八十三件となった。

議会からのお知らせ

村議会では議会を住民のみなさんにより身近で親しまれる存在にしていきたいと思っています。

どのようなにしていいたらよいか、みなさんのアイデアを求めます。各議員や事務局までお申し出下さい。文書でも口頭でも構いません。ふるってご応募下さい。お待ちしております。



清水欣吾議員



小規模企業振興基本法の成立に伴う村の支援は？

問

本法は平成26年6月に成立した。

小規模事業者の多様な需要に応じた事業活動の推進を図る振興策を講じるとある。



そこで日本政策金融公庫が融資する経営改善貸付資金の利子補給の支援をする考えはなにか、お訊きする。

答

地域の商工会や金融機関と話し合い、地域事業者の振興策として有効な手段等の検討をしていく。



議長の目^{アイ}ランド



〇〇〇議長4年間をふりかえって〇〇〇

皆様のご支持をいただき4年間議長の重職を務めさせていただき、誠にありがとうございました。自分らしさを出しながら、また皆様の期待に添うべく努力をしてきましたが、振り返ってみますと自信の持てる成果はありませんでした。

議員の仕事っていったいなんだろう？議員の使命については今でも自問自答をしています。議員必携によると、議会は住民を代表する公選の議員をもって構成される地方公共団体の意思決定機関であり、日本国憲法第93条で『地方公共団体には法律の定めるところによりその議事機関として議会を設置する』と定めている。

議会の使命は二つあり、一つ目は、地方公共団体の具体的政策を最終的に決定する機関である。二つ目は、議会が決定した政策を中心に行う執行機関の行財政の運営や事務処理、ないし事業の実施がすべて、適法・適正にしかも、公平・効率的にそして民主的になされているかどうかを批判し監視することである、とされています。

そして「議員の職責」についても厳しく定めている。

議員は人格識見とも優れた住民の代表者で、議員の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民からの声であるとされている。評決において投じる一票は、住民の立場にたったの真剣な一票でなければならず、議員は「住民全体の代表者であり奉仕者である」とされている。

このことをよく理解し、特に一般質問は住民の声を村長に届ける大事な機会であるので、多くの疑問を村長に投げかけてほしかったが、この4年間あまり活発とは言えなかった。

任期満了を控え、新たに議員になられた方々には、もう一度議員としての使命を考え、活発な議会運営を行い、住民の負託に応えていただくことを期待したい。



議長 前田 邦弘

◇◇◇◇◇◇ 議員のひとりごと ◇◇◇◇◇◇

衣食足りて礼節を知る、ということわざ（中国の故事か？）がある。これはいくら礼儀や心掛けを説いても、ボロをまといロクな食べ物もない状態では何を言っても無駄、まずは生活の最低条件を整えることが先決、その上で、といったことになるか。政治家にとっては耳の痛い話で偉そうに道徳を説く前に経済を良くしろ、である。

しかし、しかしである。他方では一寸の虫にも五分の魂、人はパンのみにて生きるにあらず、といったこともある。人間、どんなに落ちぶれても人としての矜持、誇りをもっているものだ、単に食えればいいというものではない、となる。うーん、人は中々複雑だ。一筋縄にはいかない。

増え続ける社会保障費が問題となっている。単純に言うとサービスを抑制するか、税を引き上げるしか選択肢はない。細かく言えばサービスを抑えるにしても本当に必要なものと無駄なものを峻別して合理化すべき、となろう。また税の引き上げにしてもだれがどのようにどれだけ負担するかが敏感な問題となる。

社会生活上のコストを考えてみると昔はほとんど税金を使わなかったなあ、と思い至る。水は近所でモヤイで井戸を掘って使い、風呂は薪をくべ、生ゴミや糞尿は畑の肥料に再利用し、クルマは少なかったから道路整備の必要性は感じなかった。こういった生活が果して幸せだったかどうか、にわかに断じがたいが、少なくとも地域の自然的、社会的条件の中で長年月をかけて営々と形作られてきた結果であり、それなりの合理性を有していたに違いない。

これに引き比べ現代の文明生活を維持するには何と社会的コストのかかることよ、と嘆息してしまう。これからもこの傾向は続きコストは増えていくだろう。

では私たちはどうしたらいいか？やはり自分にできることは自分でする、の自立の精神と、互いを思いやり助け合っていく共助の精神、この二つで乗り切っていくしかないのでは、と思う。

それともそんなことは飯が食えてナンボのこと、廃車や家電製品の山間投棄も、ウワサに聞く雨の夜の汚水の放出も仕方のないことだ、と考えるか。ただそのようなことを容認すると現実には必要以上の社会的コストとしてはねかえってくることを忘れてはならない。



● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 1 0 月 2 日 高度情報通信（光ファイバー通信）の説明会（NTTによる）に出席
 3 日 第 2 回新島村防災会議に出席
 1 6 日 防衛省技術研究本部長が表敬訪問に訪れ、これに対応
 1 8 日 新島村防災訓練に参加
 1 9 日 調布飛行場祭りに来賓として出席
 2 3 日 全国漁港・漁場大会が東京メルパルクホールで開催され出席
 議員全員で国会議員の先生方に高度情報通信施設光ファイバーの敷設について
 参議院議員会館で要望活動
 2 5 日 大島町土石流災害一周年追悼式に出席（26日まで）
 3 0 日 全国道路整備大会が日比谷公会堂で開催され出席
 3 1 日 八丈町町制施行 60 周年記念式典に出席（11月1日まで）
- 1 1 月 4 日 新島村国民健康保険委員会に出席
 1 0 日 東京都町村議会議長会臨時総会が松原村で開催され出席
 1 1 日 東京フロラシオン青山で全国離島議長会が開催され出席
 1 2 日 町村議長全国大会がNHKホールにおいて開催され出席
 1 3 日 東京都町村議長会による優良町村視察が福島県西郷村を中心に実施され、
 これに出席（14日まで）
 1 5 日 鶴岡市・新島村友好盟約 30 周年記念行事に出席（16日まで）
 2 7 日 平成 26 年第 4 回議会運営委員会に出席
- 1 2 月 4 日 第 4 回定例会（5日まで）

編集 後 記

この 4 年間、広報編集委員長の大役を任せられてなんとか無事にまっとうできそうである。

本紙は議会の広報であるので議会活動やその他の公務を主たる取材対象とする。その点では面白ければ何でもというわけにはいかず、制約があり各議員の活動に期待するしかない。

その上で広報は住民のみなさんに関心を持って読んでいただくにはどうしたらよいか、悪戦苦闘し、試行錯誤しながらない知恵をしぼって励んできたわけである。最初の頃と比べるとかなり改善されたのでは、と自負している。

まず表紙の写真は地域の現状を知ってもらえるものにしよう、人物を中心に生活感情が表わせることに焦点をしばった。次に裏面で解説文を添え、なんだ、そういうことか、という構成

にした。メインの一般質問は内容を要約し、読みやすくするよう努めた。写真を多用し、できるだけ大きくし、カット絵も増やし見てもらうことにも気を使った。「議長目ラウンド」は議会の顔である議長は何を考えたか、みなさんに理解していただくために設けた。また特集記事で視察報告を掲載した。

これからは議員の座談会やコラム、公共施設の検証記事など載せることができれば、とアイデアを練っている、単に情報を列挙するだけでなく、生きていく言葉、生命の宿った文章となり、地域社会を知る一つの手立てとなるようにできればと願っている。

● 広報編集委員長

山本 均